

2018年度 大学入試センター試験（本試験）分析と学習のアドバイス

科目： 生物基礎

◆全体概況

大問数・解答数	大問数：3題 解答数：17問
難易度	難化 (昨年が簡単であったので、標準的)
分量	昨年並み

◆大問別分析

大問	出題分野・テーマ等	配点	分析
第1問	生物の特徴および遺伝子とそのはたらき	19	生物の特徴と細胞の構造、遺伝子とそのはたらきが出題された。問5でDNAの研究史について出題されたが、知識そのものが問われたのではないため、内容をしっかり理解できていれば正答できたであろう。
第2問	生物の体内環境の維持	15	体液と腎臓のはたらき、体内環境の調節が出題されたが、ともに基本的な知識があれば容易に解答できた問題であった。
第3問	生物の多様性と生態系	16	気候とバイオーム、遷移の過程としくみが出題された。問2と問4で見かけない図表が題材となっていたが、しっかりと考察問題の対策ができていれば解答できた。ある程度の思考力は必要になるが、難易度としては標準的。